

東京外国語大学留学生支援の会会報

第7号 2001年5月13日

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学内
Tel : 042-330-5183 東京外国語大学 留学生課 (谷川) Fax: 042-330-5189
E-mail: ZXD06347@nifty.ne.jp URL : http://www.tufs.ac.jp/is/shienhome

この4月で本会も3年目を迎えることになりました。新規事業に向けて、会員の皆さんのさらなるご支援をお願い致します。

1. 本年度の事業計画

本年度の事業計画が決定致しました。詳細及び、昨年度の事業・収支報告につきましては、別添資料をご覧ください。

本年度から活動の大きな柱の一つとして、留学生への資金面での支援として、奨学金支給のための基金の積み立て、病氣療養の際の見舞金支給の検討を開始します。

現行の幹事会の会員総会と理事会への改編のように、当会の運営体制の再検討も行います。

しかしながら、資金・人手の不足という問題が、当会の活動発展の大きな障害となっています。会員の皆さんにおかれましては、本年度も継続して会員としてご支援頂きますよう、お願い申し上げます。また、運営をお手伝い頂ける方を引き続き募集しておりますので、ご興味のある方は、どうぞお気軽に幹事会にご参加ください。

2. 留学生よろずコーナー開設

留学生の相談にんだり、おしゃべりをするコーナーを学内に設置することは、当会設立当初からの懸案事項でした。

6月より第1と第3金曜日(予定)に、学内の和室にて「留学生よろずコーナー(仮称)」を開設することになりました。第1回は、6月15日(金)11:00~14:00です。このコーナーで行う

ことは、(1)生活相談、(2)日本語指導、(3)日本人学生との交流、(4)休憩です。「休憩」とは、府中への移転後、学内に留学生用の教室がなくなってしまったため、留学生同士の交流や休憩のための場を提供するためです。

このコーナーの正式名称は留学生から公募します。

3. ブックバザー&ティーパーティー

— 本をご提供下さい —

毎回好評のブックバザーですが、今回は、6月29日(金)12:00~14:00です。場所は、東外大研究講義棟2Fバルコニーです。

本をご提供頂ける場合は、6月25日までに「ブックバザー用」と明記の上、留学生課までお送り下さい。なお、送料はご負担頂けますようお願い申し上げます。

ブックバザーの後は、同じ場所で留学生とのティーパーティーを開催します。

*「留学生よろずコーナー」、「ブックバザー&ティーパーティー」をお手伝い頂ける方がいらっしゃいましたら、当会までご連絡ください。この機会に、留学生と交流してみませんか。

4. お知らせ

チラシ完成

同封致しましたように、当会のチラシが出来上がりました。会員の皆さんも、クラス会などでの配布にご協力ください。

ホームページアドレス変更

新しいアドレスは、

<http://www.tufs.ac.jp/is/shienhome/> です。

どうぞアクセスしてみてください。

5. 鎌倉旅行の感想

会報第6号でお知らせしました、1月14日の鎌倉旅行について、お2人の留学生から感想文を頂きました。

留学生日本語教育センター

ラミチャネ・アヤムさん (ネパール)

日本へ来てから1回でも行って見学すべき場所の1つが鎌倉です。日本の伝統と歴史の中で、重要な場所です。鎌倉にあるお寺などがきちんと保存されていたことに私は感銘を受けました。

私はずいぶん前から鎌倉へ行きたかったのですが、ちょうどいい機会がありませんでした。一人で行くのは意味がないと思って、一緒に行ってくれる友だちを探していました。幸いにもセンターの事務部から「新春の鎌倉を訪ねる会」のお知らせがありました。「皆で鎌倉を散歩しましょう」とあったので、ぜひ参加したくなりました。

1月14日は寒くても晴れていたのので散歩するにはいい天気でした。散歩は円覚寺から始めて、できるだけ多くの場所を訪ねて、最後に大仏様に対面する予定でした。見学は予定通りにできました。

町田先生がいらっしやったのは、本当によかったと思います。先生は見学場所について、いろいろな面から説明してくださいました。先生とお話ししていろいろなことを詳しく知ることができました。

留学生が日本人の方々や学生と一緒に見学する機会はありません。支援の会のおかげでそれもできて私はとてもうれしく感じています。皆様の親切をしみじみと感じます。大変お

世話になりました。本当にありがとうございました。

大学院 許舜貞さん (韓国)

十数年振りの大寒波が日本を覆いこんだ1月14日(日曜日)、天候が崩れるのではないかと心配に駆られながら、品川の集合場所である横須賀線のプラットフォームに向かった。曇りだという天気予報とは裏腹の晴天には恵まれたけれど、厳しい寒さに皆身体を震わせながら鎌倉を目指した。初めて訪れる鎌倉に皆はどんなことを感じるんだろう? そう思いながら自分も1日だけの鎌倉だけと思う存分満喫しようと密かに心の中で決めていた。

第一印象は観光客や車などで鎌倉の町が埋め尽くされているような気がしたが、次第に自然と上手く調和されたお寺や町並からは、のどかな古都の趣と、都会とは異なる澄んだ空気を身体いっぱい感じられ、懐かしさと心地よさを同時に覚えたような気がした。

鎌倉での最初の訪ね先は「円覚寺」で、大きな門をくぐり抜けたらその境内には立派な桜の木が立っていたが、淡いピンクの花は、もちろん見ることができなかった。冬が恨めしかった。本堂では厳かに座禅を行っている信者達の姿があったが、その姿が単なる見物人に過ぎない私たちに謙虚な気持ちにさせているようで、つい手を合わせたりもした。その足取で次に向かったところは「建長寺」で、ここは、同行してくださった町田先生の友人の方がいらっしやるところだったので、その方からお寺の歴史について詳しく説明していただくことができた。そして、温かいお茶まで出していただいて、冷えきった身体を暖めながら仏教に関するお話をいろいろ聞かせていただいた。その時の温かいお茶が仏様のように思えたのは私だけだったのだろうか。

昼食を取ったあと、一同は「鶴岡八幡宮」へ。お寺はそれほど込んでいなかったのに、神社だからなのか、ものすごい人出だった。おみくじ

を引くために行列ができていたので、それにそ
そられ私もその列に加わった。結果は「吉」、
「凶」の一字がないのを幸いに鶴岡八幡宮を
去った。最後の目的地は「鎌倉大仏」、テレビや
写真などでしか見たことのない、大仏様のお姿
を拝むことができると思ったら、自然にわくわ
くしてきた。文字通りの大仏だった。別に仏教徒
ではないが、なぜか口から「すご〜い」という
言葉が自然に漏れてしまった。そのドデカイ
建造物を背景に記念写真をパシャパシャと撮っ
て、大仏様に別れを告げた。

初めての鎌倉はとても良い印象を与えてくれ
た。そこを訪れた皆も、もう一つの日本を経験
できたと思うし、そして、もっと日本を知ろう
と、そう思ったに違いない。

江ノ電の中から湘南の海を眺めながら、「ま
た来るから」と静かに呟いた。

6. 幹事会

- 平成 12 年度第 8 回幹事会 2 月 10 日 (土)
- 平成 12 年度第 9 回幹事会 3 月 18 日 (日)
- 平成 13 年度第 1 回幹事会 4 月 22 日 (日)
- 平成 13 年度第 2 回幹事会 5 月 13 日 (日)

大切なお知らせ…会員継続のお願い

4 月より新年度を迎え、会員の皆様には、本
年度も引き続き会員としてご支援頂きたく、本
年度会費 (一般会員：3 千円 賛助会員：一
口 2 千円 学生：無料) を同封の振替用紙にてお
振込み頂きますよう、お願い致します。

(すでにお振込み頂いている場合は、失礼をお詫び
申し上げます。)

郵便振替 00130-3-192674
名義 東京外国語大学留学生支援の会

(さくら銀行の口座は閉鎖致しました。)

東京外国語大学留学生支援の会会報

第8号 2001年10月3日

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学内
Tel : 042-330-5183 東京外国語大学 留学生課 (谷川) Fax: 042-330-5189
E-mail: ZXD06347@nifty.ne.jp URL : http://www.tufs.ac.jp/is/shienhome

1. 最近の活動から

ブックバザー&ティーパーティー

—ご協力ありがとうございました!—

6月29日に開催のブックバザーには、会員の皆さんからご寄贈いただいた本を含め、2,500冊ほど集まりました。府中への大学の移転からまだ日が浅いにもかかわらず、近くにお住まいの方々や、府中市の図書館からもご寄贈いただきました。留学生課の職員の方々、留学生、日本人学生の協力で、盛況の内にバザーを終えることができました。バザーの後のティーパーティーも、にぎやかな歓談の場となりました。

留学生よろずコーナー (仮称) 開設

前号でご紹介しました、留学生よろずコーナーですが、留学生のナマの声が聞ける貴重な場です。当会としては、ここでの留学生の意見を大いに活動の参考にしていきたいと思っております。次ページの「感想コーナー」では、よろずコーナーに参加している当会幹事からの投稿を掲載していますので、どうぞご覧下さい。

2. これからの活動

(1) 泊まりがけ交流会

留学生約30名と会員約10名で、1泊2日の交流会を11月3-4日に開催します。高尾山でハイキングをし、八王子市にある「(財)大学セミナー・ハウス」に泊まります。その晩と次の日に、じっくり留学生と語り合います。(先着順)

参加費: 会員 9,200円 留学生 2,500円

(参加希望の留学生は、留学生課まで)

(2) 11月23日(金)のイベント—東外大にて

外語祭期間中の11月23日(金)に、東外大にて、以下のイベントを開催致します。会員の皆様のご支援、ご参加をお願い致します。

・TUFS 留学生写真コンテスト 2001

—ご覧下さい—

午後1:00~5:00(予定) 研究講義棟1F(予定)

留学生が日本での生活の中で撮影してきた、素晴らしい写真の数々を展示、そして教職員、学生、外語祭の一般参加者による投票を行います

・留学生支援バザー

—ご協力をお願い致します—

タオル、毛布、シーツ、せっけん、衣類、家電製品、自転車等の日用品、そして本など、ご不要の物品の提供をお願い致します。下記のように、東外大留学生課宛に11月21日までに送して下さい。なお、送料はご負担いただけますよう、お願い致します。

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学留学生課

(11/23 バザー用と明記下さい。)

・平成13年度懇親会

—ぜひご参加ください—

午後6:00~8:00(予定) 於: 大学会館 2階食堂 (予定)
年に一度の、留学生との懇親会です。これまでと同じく、留学生の参加費は、当会の会費収入及び当日の会費(カンパを含む)で負担しますので、どうぞふるってご参加ください。

・参加費: 5000円 (留学生・日本人学生は無料)

・申し込み締切り: 11月21日

*会員用—泊まりがけ交流会・11月23日懇親会申し込み先:

会長 中嶋洋子宛 ファックス: 03-5392-3530 Eメール: ZXD06347@nifty.ne.jp

3. 活動に参加して—感想コーナー

留学生よろずコーナー(仮称)

幹事 黒田隆

「や、お元気ですか」—6月15日の第1回留学生よろずコーナーでの、第一声は忘れられません。毎月第1、3の金曜日午前11時から午後2時まで。留学生支援の会の会合で、当初からテーマとされた交流会の初日。会場はしゃれた和室。支援の会スタッフ数名は、学生の参集を心待ちにしていました。これまでに懇親会や旅行会で顔を会わせていた留学生数名が集まり始めました。

「や、お元気でしたか」と、あいさつが放射線状にとびかう。ところが、15分もたたないうちに、室内はいっぱいとなり、となりの部屋までテーブルを増やす。「よかった」と思いました。「学生たちの顔がみえた」と。留学生だけでなく、日本人学生の積極参加もうれしい。昼食をほおぼりながらの、熱気すら感じる若者らしい和気あいあいの交流会。

以来、コーナーは9月に再開。まだ授業再開前にもかかわらず、学生も新しいスタッフも見え、話題は、学生を中心とした具体的支援の方向性に移っていく。顔が集まれば、ことばがとびかう。肉声の交換は、なによりのスキンシップ。やがて、広義の実質的な「学生交流」の場として、金曜日の和室は、にぎわいをみせていくことでしょう。

みんな気楽に集まろう。そして語りあおう。真の出発が、そこにあるのだから。

引き続きご支援を!

会長 中嶋洋子

日頃より当「留学生支援の会」に対してご支援、ご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

当会は、中嶋嶺雄前学長の提唱のもと、一昨昨年、留学生のために何か役にたたい、との思いを同じくする者数名が集まり発足しました。以後、試行錯誤を重ねつつ、会報で時々お知らせしていますような活動を未熟ながら続けています。これもひとえに会員の皆様の陰のお力に支えられてこそ、と感謝しております。

しかし、会則もいまだに不十分であります。例えば、決算・予算の審議、事業報告・事業計画の審議などについては、本来なら会員全員の総会などで行われるべきでありましょう。現段階では、幹事会の決定を、春期会報で皆様にお知らせするにとどまっております。そこで今後は秋期の会報の時期までにご意見をいただき、特に問題がなければ幹事会の決定が了承されたものとさせていただきます。どうぞ忌憚のないご意見をお寄せ下さい。当分の間、会則の面では不十分のままの活動継続となりますが、名誉ある「東京外国語大学」を共通の基盤とした会員の集まりであることに鑑み、当分の間、この形式で運営させていただきたいと思っております。とはいえ、皆様のご意見を充分に反映させていくつもりですので、どうぞ創造的なお考えをお聞かせ下さい。将来的には、NPO法人化の方向も視野に入れつつ、地道に活動を続けていくつもりです。

なお、会員の方々が留学生と直に接していただく方法は、今のところ次のような方法があります。

- ・ホームヴィジットを受け入れていただく。
- ・「留学生よろずコーナー」に参加していただく。
- ・各種行事に参加していただく。

当面の活動

11月3-4日 高尾山ハイキング・泊まりがけ交流会

11月23日 留学生との懇親会

1月初旬 鎌倉1日小旅行

- ・幹事になっていただく。

こうした方法を通して、1人でも多くの会員の方々に留学生と直接交流、アドバイスをさせていただくことが会の活動をより豊かにしていくものと信じています。

今後とも、ご指導と、ご支援・ご協力のほどをお願いいたします。

4. 幹事会

平成13年度第3回幹事会 6月17日(日)

平成13年度第4回幹事会 9月9日(日)

☆☆☆ 募 集 中 ☆☆☆

* ホームヴィジット受入家庭

* 当会の幹事

* 会報への投稿

当会の活動へのご意見、アドバイスも!

東京外国語大学留学生支援の会会報

第9号 2002年2月6日

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学内

Tel : 042-330-5183 東京外国語大学 留学生課 (谷川) Fax: 042-330-5189

E-mail: ZXD06347@nifty.ne.jp URL : http://www.tufs.ac.jp/common/is/shienhome/

会員の皆様へのお詫び

先日、2月1日付の会報第9号をお送りした際に、パソコンのトラブルによる、たいへん読みにくい紙面となったものを、誤ってお送りしてしまいました。会員の皆様へは、深くお詫び申し上げます。改めて、会報第9号をお送り致します。今後このようなことのないよう、十分注意致しますので、どうぞ皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。

1. 最近の活動から

(1) 泊まりがけ交流会 11月3-4日

高尾山ハイキングを楽しみ、八王子市の大学セミナーハウスに宿泊し、翌日は留学生と日本人学生によるシンポジウム「国際交流における言語の役割」を開催しました。詳細は次ページの会長の同行記をご覧ください。

(2) 11月23日(金)のイベント—東外大にて TUFFS 留学生写真コンテスト 2001

今回も留学生のステキな写真が集まりました。応募者15人、応募写真数18、投票者95人、総投票数233票でした。1位はガンブへさん(中国)の「21世紀の初日の出」でした。3位までの優秀作品は、生協掲示板に1年間展示します。

留学生支援バザー

物品をご提供いただき、ありがとうございました。外語祭期間中ということで、ご近所の方もたくさんいらっしやいましたので、今回は留学生以外の方にも、留学生価格の倍額で購入していただきました。たい

へん好評で、約6万円の売り上げがあり、今後の活動資金としてありがたく使わせていただきます。

平成13年度懇親会

留学生、日本人学生、会員、教職員等、約130名が参加しました。東外大の池端新学長も参加されました。写真コンテストの表彰式、タイの民族舞踊も行われ、楽しく歓談の時間を過ごしました。バザーで買った洋服をさっそく着てきた留学生もいました。次回は、さらに趣向を凝らし、楽しい会にしたいと思いますので、今回ご参加いただけなかった方もどうぞご参加ください。

(3) 鎌倉旅行 1月13日(日)

1月13日(日)朝10時近くに、品川駅を出発し、北鎌倉へ向かいました。参加者は、16カ国からの25人の留学生と引率7名の、総勢32名。暖かく、穏やかな天気恵まれて、とても楽しい旅でした。

北鎌倉から円覚寺、建長寺と見て回り、新しく出会った留学生同士、当会会員とのおしゃべりをたのしみながら、仏殿、庭園等、それぞれの興味のあるところで時間を過ごし、座禅をやってみたいという留学生もいました。

お昼は、「鎌倉五山」でとり、おなか一杯になったところで、鶴ヶ岡八幡宮まで細い歩道を1列になり歩いて行きました。八幡宮は、まだ正月の参拝客で一杯で、とても活気にあふれていました。留学生たちは、仁王様の姿や、鳥居の形、大イチョウの木の立派さ、奉納された酒樽の数の多さ、源平池、おみくじ等々、興味津々で見回り、写真を撮っていました。小町通りは、おもしろい魅力にあふれたお店が一杯で、とても時間が足りませんでした。その後、鎌倉駅に戻り、江ノ電で高徳院へ。大仏様にお会いしている中に目が落ちて、夕暮れになってしまいました。そこでいった

た町田先生（東外大留学生日本語教育センター
教授）の、自分の意見を一方的に述べて相手を攻撃する
のではなく、まずは笑顔で、その後自分の主張を
述べるといった相互の信頼関係が大切なのではない
か、という助言でお聞きとなった。

学内では留学生と日本人学生がこのように議論する
場があまりないのではないのでしょうか。当会では
今後もこのような機会を設けたいと思っています。
テーマその他についてお考えのある会員の方々のご
助言をお待ちしています。なお、今回、一般会員で
いらっしゃる山口様（三鷹市在住、中国語科昭和39
年卒）が参加してくださり、学生たちにいろいろお
話をしてくださったり、ご協力いただきました。こ
の場を借りてお礼申し上げます。